

セラピストに選ばれる店に！充実したワーク・ライフ・バランスを実現



治療を主眼としたマッサージを提供し続ける「禅ジャパニーズ・マッサージ (Zen Japanese Massage)」では、マッサージ・セラピスト、アキュパンクチャリスト、フィジオセラピストを募集中。設立10年目を迎える同店は、シドニーにある日系マッサージ・クリニックで1店舗当たりの業績が1位になるほどまでに成長。セラピストの満足度や結束力を高めることが結果として良いサービスを生み出すため、良好な職場の人間関係や、働きやすい環境を第一に考え、セラピストに選ばれる店舗を目指している。同店のオーナー・福富尊彦さんは、「人生の時間は限られていますが、その中でも職場は多くの時間を過ごす場所です。ですから『ただ賃金がもらえれば良い』という考えの人はあまりいないでしょう。誰もがやりがいを求めているはず。ここで働けばあらゆる仕事がうまくいくなんで魔法のような話はありませんが、皆さんが仕事に面白さを見つけてもらえるよう、微力でも力になれるような店でありたいと思います」と語る。

アピールポイント

業界トップ・レベルの高給！独立・開業も夢ではない

同店は、日本では薄給のマッサージの仕事を見直し成果をしっかりと還元してくれるだけでなく、将来的に独立・開業するサポートも行っている。また、技術指導専門のフィジオセラピストや医療系バックグラウンドを持つスタッフが多数在籍。何でも質問でき、成長できる環境が整っている。

採用担当者からひと言

よく敷居が高い店と言われますが、向上心が高い人はとにかく大歓迎です。英語ができなくても大丈夫。日本人特有のおもてなしの心はオーストラリアでも高く評価してもらえます。「体に不調を抱えたら『Zen』に行こう！」と地域の方々に思ってもらえ、自分の仕事は社会の役に立ち、意義があるという実感を得てもらいたいです。あなたの独自性を追求し、生き生きと仕事をしてもらえたら幸いです。

募集情報

- 雇用形態：業務委託
- 給与：歩合制で1時間当たり45～85ドル + チップ
- 募集職種：マッサージ・セラピスト、アキュパンクチャリスト、フィジオセラピスト
- 勤務地：シドニー (エンモア)
- 仕事内容：施術、カルテ入力、予約管理、会計、クリニックの片付け・掃除など
- 勤務時間：8AM-10PM (勤務時間内でシフト制、週2からでもOK、空いている時間は休憩、半日シフトも応相談)
- 経験・資格：理学療法士、作業療法士、アスレチックトレーナー、鍼灸師、柔道整復師、整体師、ストレッチトレーナー、スポーツトレーナー、足部反射療法士、指圧師、あん摩師、マッサージ経験者、豪州リメディアル・マッサージ・セラピスト、豪州アキュパンクチャリスト、豪州フィジオ・セラピスト (できれば実務経験3年以上の人)
- 待遇・福利厚生：指導専門のフィジオセラピストが在籍し、研修を随時実施。また、約2カ月に1回、治療主体の勉強会・症例検討会あり。難解な症例にはその都度アドバイス・練習を実施。独自の治療主体のビデオやマニュアルを多数用意。多数の専門家バックグラウンドを生かした意見交換あり。

frontdesk@zenjapanesemassage.com.au お問い合わせください!

(アドレスをタップ、クリックすると自動的にメール送信画面が立ち上がります)



住所：210 Enmore Rd., Enmore NSW 2042
Tel：(02)7901-2841
Email：frontdesk@zenjapanesemassage.com.au
Web：https://zenjapanesemassage.com.au

2022年3月15日



常連日本人、ローカルから絶大な支持を得るシドニーのマッサージ店 全員が熟練の日本人マッサージセラピスト 「Zen Japanese Massage」



シドニーのセントラム駅から西方向約5分、エンキブに店舗を構える「禅ジヤパニーズ マッサージ (Zen Japanese Massage)」はシドニーから多量に訪れたロケーションなごき多くの日本人、及びローカルの需要を担う人気なマッサージ店だ。2022年、創業10周年を迎える今回は、最新のテクノロジーが活用される最新の設備が揃ったながらも、お客様は従来の来店前よりさらに、その人気の理由はスタッフの質の高さにある。日本で理学療法士、オーストラリアで医療マッサージセラピスト及びフィジオセラピストの資格を取得し、両国のオナーを兼ねる高水準のスキルに併せてきた理由や開店の強み、今後の展望などが、話を伺った。開店では、我こそはという熱意のセラピストも数多く、経営に熱意を注ぎサービス向上を目指しているといえる。

(インタビュー：日暮アリス編集部)

PROFILE



経営者 (とくもあかり)
日本で理学療法士の資格取得後、2010年にワーキングホリデーで来日。大学理学療法士の修士号を取得。シドニー大学で医療マッサージセラピストの資格取得。本格的な日本人経営。2012年に「禅ジヤパニーズ マッサージ (Zen Japanese Massage)」をオープン。フィジオセラピストの資格も取得。「禅手療法」と呼ばれる理学療法士が自ら行う理学療法を手探りから、体の回復やメンテナンスを目的としたサービスを提供している。

来客2年で理学療法士の先陣オーストラリアでマッサージ・クリニックを開業



「理学療法士になったきっかけ、素晴らしいマッサージ店を開業した経緯から教えてください。

工学高校在学中、大学生の友人に誘われて、知財院が主催するセミナーと一緒に友人とサポートしたりするボランティアサークルに参加したことをきっかけに、どっぴりとボランティア活動にはまりかけたのがきっかけです。最初は高専の先生と話し合ったのですが、私に理学療法士という資格はなかったため、その後もボランティア活動を続ける家を見つけたのが、私に理学療法士の道を勧めてくれたのです。

「反対しにくい目もあつたのかも教えてください。

ええ、その後は働いていた会社を退社して理学療法士の養成学校に通ったのですが、4年制の学校で知られた先輩で、多くの卒業生を輩出するようになり、卒業した先生が卒業生の後援として「すごい！ 好きだ！」と激励をくれました。その先生に会うたびに、先生が私の進路がわかってその人の生活がすごく良くなる。それについていけるかな。その時は理学療法士として目指したいという気持ちで入学しました。そこで理学療法士の養成学校として有名なオーストラリアの資格取得に向けて勉強を始め、勉強はいいという気持ちになりました。それがオーストラリアに来たきっかけです。最初は英語も話せなくて大変でしたが、シドニー大学で理学療法を勉強するための学費を納めたワーキングホリデー2年目にマッサージ・クリニックをスタートさせ、その半年で完成しています。

「実行力がすごいんですね。当初、生活のために始めたといえ、やはり困難には強い信念などをお持ちだったのですか。

悔いを感じずに入社して最初3ヶ月は苦しかったです。もちろん悔いもありました。学生時代に好きだったマッサージが、いよいよこのクリニックで実践したいと。それだけ、勉強もして、マッサージのスキルも身につけて、最初の生活や人並みより良いものにするマッサージにしたいと考えるきっかけになったわけですが、ハードな勉強も楽しめていたおかげでいると考えることができました。マッサージは、家族経営で自分も経営者として働かなくてはならない状況です。最初はお客様から信頼を得るまでには、サービスを提供するマッサージのレベルから、喜んでくれるお客様における気持ちの高さと成長を認めることでもあり、そのためには、季節の1つひとつに明確な目標を設定することが必要だと感じました。新しい経営の仕組みが求められる。経営は元々ビジネスの1つで決まっています。「このお客様は生活を良くするぞ!」という明確な目標設定がなければいけません。それを実現するために必要なことは、自分自身が、行動とそれに伴う結果というものを、人びとの信頼の中にも生み出せることです。



「Zen Japanese Massage」は、マッサージ以外にもさまざまなメニューを取りそろえていらっしゃいます。

フィジオセラピーをはじめ、鍼灸、ストレッチセラピー、リフレクソロジー、整体・骨格矯正など幅広く提供しています。「体の調子を整えること」にこだわって、治療を重視したマッサージを提供しているため、お客様それぞれに合った療法を提案している点が強みです。「体感が変わったZenに行こう」と思ってもらえるようなテクノロジーを取り入れています。メニューが豊富なことに加え、セラピストがそれぞれ独自の技術で治療する点、個人とお客様とセラピスト間の関係性も、他のマッサージ店とは異なっています。店内でセラピストから話を聞いてもらうことで、お客様に合った療法を提供することが可能です。

尚ほ、シドニー大学卒業のフィジオセラピストを専任3人、オーストラリアで大学を卒業しなれば取得できないアジュンクチャーリスト資格保持者1人、他2名と日本の理学療法士、東洋療法士、マッサージ歴20年を超えるベテランや、日本のフィットネス業界で有名な「ラズダック」で、全米ランバー1位の競馬乗馬を動かすためのパフォーマンスセラピストをセラピストとして採用し、最新のテクノロジーを取り入れて提供しています。そうしたことを重視して、マッサージだけでなく、様々なアクティビティや治療を行うなど、独自のスタイルや楽しみながら治療を提供しています。



「在籍するセラピストは日本人のみのことですが、お客様はローカルの方もいますか?

店名の通りにも、お客様の約8割はローカルの方です。一方でセラピストは全員日本人。開業当初は、ランディンがきっかけで知った方々で有名な名前が揃っていましたが、「Japanese Massage」という看板を掲げることによってお客様が来店しやすくなりました。日本人がほとんどである開業のきっかけです。日本人特有の気配りや丁寧な接客、おもてなしの精神など高いサービスが求められているのだと思います。

「最後に、今後の展望をお聞かせください。

今後、組み立てたいことはお話しのようにあるのですが、水が不足している、将来的に必要になる設備を揃えてほしいと思っています。お客様は多く、特に寒い時期はセラピストにもお客様にも大変です。美しいライフワーク・パフォーマンスを実現してもらうことを目指しています。まずは、オーストラリアに居る日本人ばかりでなく、様々な文化や価値観を尊重し、Zeniに行こう!、と思ってもらえたらいいですね。

